

さば
捌く

2018
5.01 TUE



akakilike



家族写真

2018
6.22 FRI. 23 SAT. 24 SUN





2017.1『Allow』



2017.5『家族写真』



2017.8『捌く』

「ダンス」に逃げない

倉田翠のこゝを知ったのは2年前、横浜で村川拓也演出の『終わり』を見てからだ。演劇界で注目の村川の新作を観にいったのだけれど、すべてがダンスだった。新奇なものに走りながら昨今のコンテンポラリーダンスにあまり見ないほどに、動きは怜悧でストイック。倉田はダンサーとしてそこにいた。もともと倉田が過去に発表した作品の断片を村川が再構成したものであることが、あとでわかった。そして去年1月、倉田の新作『Allow』を京都のアトリエ劇研で観た。やはりシャープだ。他の人になんか持っている——いや、抱えていると言うべきか。強靱で、大胆で、妥協せず、媚びない。しかしどこかに何かを抱えている。それはガラス細工のようにもろいのか、鋼のようにつよいのか、ちがう種類のものなのか？ いずれにしろ倉田は「ダンス」に逃げない。「演技」で説明したりもしない。『Allow』のあとにつくられた『捌く』と『家族写真』。京都からの嘘のない直球が二つ飛んでくる。

石井達朗(舞踊評論家、愛知県立芸術大学客員教授)

倉田翠さん

倉田翠さんは、背が高く、顔が小さくて、色が白くて、そして、油断ならない人です。彼女の思考回路は驚くほどまっすぐで、限りなく明晰ですが、毛細血管とも言えるような意識の回路が、複雑に張り巡らされています。

それらが、ここかと思えばあそこから予想外に作動してくるのです。なので、少し面倒くさい人でもあります。そんな彼女が、このところ大変な勢いで作品を作っています。言葉を探し、踊り、そこにあるものを見つめ続け、ベテランダンサーや演劇演出家、子供からおばあさん、ツワモノから過呼吸男子までと、時に、震えるような健気さ、時に油断ならない傲慢さで格闘しています。悪意も優しさも、希望も断念もまるごと抱えて、人々とともに作りだす作品は、その地図を作りはじめたばかりです。鋭く、暖かい目で、この若い作家の登場を迎えていただけたらと思います。

山田せつ子(舞踊家)

チケット料金

捌く・家族写真とも

一般 前売 3,000円 / 当日 3,500円

学生 前売 2,000円 / 当日 2,500円

セット 5,000円 (前売のみ)

『捌く』『家族写真』両演目の日程を選択して予約下さい。

※日時指定自由席 ※開演30分前より受付開始

主催 akakilike  @akakilike_  アカキライク

チケット取扱い

<https://akakilike.jimdo.com>

チケット発売 予約開始

2018年3月1日(木)

会場

d-倉庫 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 6-19-7

公演に関するお問い合わせ

✉ akakilike.c.u@gmail.com  <https://akakilike.jimdo.com>

akakilike

akakilike(アカキライク)は、テクニカルスタッフと倉田翠のみで構成され、主に舞台作品を作ります。スタッフと出演者が常に対等であること。それぞれが確立して作品のためにやるべきことをするために集まった集団です。akakilikeはダンサー、役者は募集しておりません。作品によって、その都度出演者を決定いたします。



日暮里駅 JR南改札口より徒歩7分
JR山手・京浜東北・常磐・京成線、倉人ライナー



倉田翠
Midori Kurata

1987年生まれ。
京都造形芸術大学卒。
3歳よりクラシック
バレエ、モダンバレエ
を始める。主に京都

を中心に演出・振付家・ダンサーとして活動。
2011年より京都府庁でのダンス公演「すごいダンス in 府庁」実行委員長。akakilike 主宰。



やばいことは一人でやる。
誰が悪いかがはっきりしない「悪い」が一番悪い。

捌く

みんな一緒に、どうやってソロになるか。
男性10人のソロダンス作品。

2018
5.01 tue 11:00 15:00 18:00

演出	akakilike
倉田翠	主宰・演出 倉田翠
出演	演出助手 平澤直幸
今村達紀	衣装 清川敦子(atm)
大石英史	広報・宣美 岡南杏奈
楠毅一朗	音楽 genseiichi
竹ち代穂也	照明 魚森理恵
狭間要一	音響 甲田徹
平澤直幸	staff
正木悠太	舞台監督 大鹿展明
諸江翔大朗	制作 長澤慶太
山本和馬	
よしたく	
寺田みさこ	



今村達紀 Tatsunori Imamura

振付家、踊り手、poseと休止、pauseと態度の間に踊りをうみだす。2014年4月1日から毎日どこかで呼吸を止めて踊る動画「本日の無呼吸」をweb上にupしている。白湯とカフェオレと薄いビールをこのむ。

大石英史 Eiji Oishi

dracom登録メンバー。dracom以外では、庭劇団ペニノ、維新派、新聞家、トリコ・Aプロデュース、ソ・ヒョンソク演出作品、sons wo:、村川拓也演出作品、藤田貴大作・演出作品などに出演。

楠毅一朗 Kiichiro Kusunoki

30歳過ぎて芝居を始めて、37歳からコンテンポラリーダンスを始めて、最近になって料理の楽しみを知って、チャーハンとか焼きそばとか、炭水化物ばかり作っている現在44歳、牡羊座の五年です。年男であることは内緒です。

竹ち代穂也 Mariya Takechiyo

92年舞台活動を始める。「体の在り方」に興味を持ちながらダンサー、演出家、振付家として活動。演劇や音楽家など異なるジャンルとの共作や外部出演も多い。平成の金粉ショー「新世界ゴールデンファイナンス」代表。毎年滋賀県のお寺で「東光寺アートフェスタ」のディレクターと雑用を行う。

狭間要一 Yoichi Hazama

京都生まれ。塗師。2011年会津漆の芸術祭招待出品。2013年のニューブランシュで双子の未亡人「ミチコ」に出演。2016年KYOTO EXPERIMENT ルイス・ガレー(不可能な場所)に出演。

平澤直幸 Naoyuki Hirasawa

akakilikeの演出助手。

正木悠太 Yuta Masaki

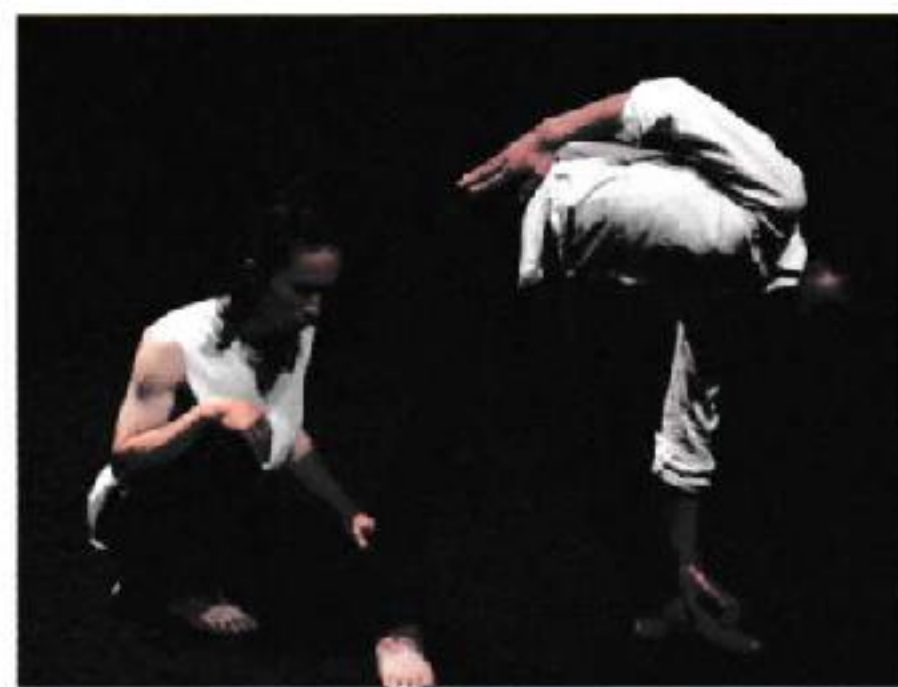
1990年、奈良生まれ。学生時代からダンスを始める。近畿大学にて碓井節子に師事。2016年にラトビアへ留学。世界中を踊って周りたいたいと思っています。

諸江翔大朗 Shotaro Moroe

俳優。現代芸術家の高嶺格に師事し、同氏の作品に多数出演。また、木ノ下歌舞伎、KUNIO、村川拓也らの作品にも出演。暇な時はフィリピンのスラム街でタコを釣ったりしている。記録にまつわる作業集団「ARCHIVES PAY」所属。

山本和馬 Kazuma Yamamoto

振付家・ダンサー。NPO 法人 DANCE BOX 主催「国内ダンス留学@神戸」に参加。その後、関西を中心に活動し、国内外で作品を発表する。2016年から自身の探求の場を「Diversion」と題し、踊ることそのものを模索する活動を行なっている。



よしたく Yoshitaku

poppingやアニメーションダンスをベースにストリートダンスコンテストやバトルで入賞などする実績を持つ傍、コンテンポラリーの舞台やイベントなどにも意欲的に出演する異色ダンサー。絵とダンスと音の融合カンパニー「uzumono」主催。

寺田みさこ Misako Terada

ダンサー・振付家。幼少よりバレエを学ぶ。1991年より砂連尾理とダンスユニットを結成し国内外で作品を発表。06年以降ソロ活動を開始し、自身の作品を発表する傍ら様々な振付家の作品に出演。アカデミックな技法をオリジナリティへと昇華させた解像度の高い踊りに定評がある。



「もしなもしもしやで
お父さんが死んだらやけどなみんな
考えたことある？」

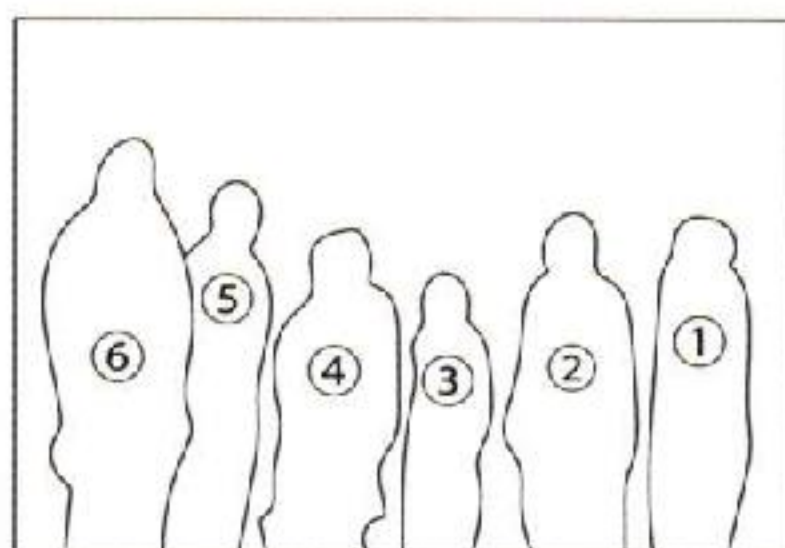
おかえりなさい残念ながら、
あなたのお家はここにしかありません。

家族写真

2016年夏、写真家と演出家の
共同制作企画として舞台作品を上演しました。
「家族」が再び集まり、テーブルを囲みます。
「家族」の、そのほんの些細な、「続き」。

2018
6.22 FRI 19:00
6.23 SAT 14:00 19:00
6.24 SUN 15:00

演出	akakilike
倉田翠	主宰・演出 倉田翠
出演	演出助手 平澤直幸
倉田翠	衣装 清川敦子 (atm)
迫沼莉子	美術 木岡なつき
佐藤健太郎	広報・宣美 岡南杏奈
竹内英明	照明 魚森理恵
筒井潤 (dracom)	音響 甲田徹
寺田みさこ	staff
前谷開	舞台監督 大鹿展明
	制作 長澤慶太



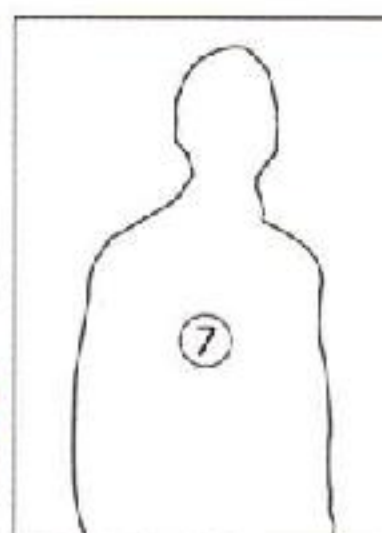
- ① 倉田翠 Midori Kurata
1987年生まれ。京都造形芸術大学卒。3歳よりクラシックバレエ、モダンバレエを始める。主に京都を中心に演出・振付家・ダンサーとして活動。2011年より京都府庁でのダンス公演「すこいダンス in 府庁」実行委員長。akakilike(アカキライク)主宰。
- ② 筒井潤 Jun Tsutsui
演出家・劇作家。公演芸術集団dracomのリーダー。2007年に京都芸術センター舞台芸術賞受賞。dracomでの活動の他、過去には山下残振付作品、マレピトの会、KIKIKIKIKIKI、DANCEBOX『新長田のダンス事情』、桃園会、維新派、悪魔のしるしの公演に参加。

③ 迫沼莉子 Riko Sakonuma
2006年生まれ。2歳よりクラシックバレエを始める。「家族写真」は3度目の出演。

④ 前谷開 Kai Maetani
1988年生まれ。自身の行為を変換し、確認するための方法として主に写真を使った作品制作を行う。主な展覧会に、「ハイパーニック・エイジ」(京都芸術センター)、「第36回写真新世紀東京展2013」(東京都写真美術館)など。

⑤ 寺田みさこ Misako Terada
ダンサー・振付家。幼少よりバレエを学ぶ。1991年より砂連尾理とダンスユニットを結成し国内外で作品を発表。2006年以降ソロ活動を開始し、自身の作品を発表する傍ら様々な振付家の作品に出演。アカデミックな技法をオリジナリティへと昇華させた解像度の高い踊りに定評がある。

⑥ 竹内英明 Hideaki Takeuchi
1981年高知県生まれ。京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科舞台コース卒業。以後ダンサーとしてこれまでに山田せつ子、桑折現、きたまり、白井剛、杉原邦生、小野寺修二ほか多数の振付家・演出家の作品に出演。



⑦ 佐藤健太郎 Kentaro Sato
ダンサー・振付家。近年はNora Chippomura、Luis Garay の作品に出演。相模友士郎×佐藤健太郎「ナビゲーションズ」を全国巡回中。スタイリッシュな上半身とテキトーな下半身を持ち合わせ、作品に応じたスタイルを追求している。